

Y16b

名古屋大学グローバルCOEプログラム「宇宙基礎原理の探求」における アウトリーチ活動

内藤博之（名古屋大学）ほか名大GCOE「宇宙基礎原理の探求」拠点一同

名古屋大学グローバルCOE「宇宙基礎原理の探求」（拠点リーダー：杉山直）は、素粒子から太陽系、そして宇宙全体を研究対象として、包括的な宇宙の理解を目指す教育研究拠点である。本拠点は宇宙に関する幅広い研究者を擁しており、研究スキルと広い視野を備えた学生を育成し、大学・研究機関をはじめ社会のあらゆる場所で活躍する多くの人材の輩出を目指している。

アウトリーチ活動は、狭義では研究成果を社会に還元する義務的な行為として扱われることもあるが、研究者にとっても、市民と対話することで研究成果への期待を直に感じられたり、自分の研究の社会的位置づけを再認識できたりするメリットがある。名古屋大学理学研究科では、従来名古屋市科学館と共催して「公開セミナー 天文学の最前線」を展開しており、研究者単位でも精力的にシンポジウムやサイエンスカフェで講演活動を行っている。一方、学業と研究に邁進する本拠点内の大学院生にとっては、関心はあるものの様々な制約があり、主体となってアウトリーチ活動を企画し実践していくことは難しい。そこで本拠点では、大学院生が自らの研究を市民に向けて発信できる機会を創設し、拠点発の最新の科学を市民に伝え、学生自身の研究活動へもフィードバックできるように取り組んでいる。

本講演では、具体的な例として学内の保育園や学童保育施設での観望会、名大博物館や名古屋市科学館との共同イベントについて報告する予定である。